



菊人三郎
文書

東京市麴町區霞ヶ關一丁目二番地

内務省東京土木出張所

昭和十四年九月廿一日

電話銀座(57)

三三三番
二二二番
一六六番
五六一番
五六六番
五六一番
五六六番
(4)
(5)

デレ-ケ圖書目錄

學會
トケル 勝字送リ濟ノモノ
出張所
トケル 東京土木出張所 在庫
沿革考
トケル 利根川沿革考 所載ノモノ

年号	事 績	備 考
明治六	柴工水刳	出張所
七	河川改修附録 第四	〃
〃	大坂末流目論見	〃
〃	澁川改修土砂阻塞ノ部	〃
八	坂落目論見	學 會
〃	築港目論見物料表	〃
〃	天保山築港計算表	〃
一〇	澁川改修柴工水刳 (エツセル共著)	出張所
一一	(坂井港調査)	

一三	(大坂港調査)	
一九	(横濱港調査)	
二〇	大坂港及渡川高水路改修計畫 利根運河計畫改訂(マルデル共著)	沿革考 學會
二一	(横濱港調査)	
〃	(東京港調査)	
〃	大坂港及渡川高水路改修改正計畫	學會
二三	淀川大和川驗査復命書	〃
二四	蘭國卑濕地ノ狀況	沿革考
〃	多摩川檢査報告	〃
二五	日本治水上ニ係ル所見	〃
〃	水源涵養法施行緊急ノ主意	〃

二六 (仙台灣内築港調査)

内務省東京土木出張所

目録

二五 日本治水ニ係ル所見
水源涵養法施行緊急ノ主意

内務省東京土木出張所

二六 (仙台湾内築港調査)

右目錄ノ外

大阪土木出張所在庫 淀川三冊 木曾川一冊 港灣一冊

粗朶別概則一冊

日本築港史 港灣ニ関スル意見書概要

東京市史稿 東京港横濱港意見書

新潟土木出張所 坂井港 新潟港 信濃川等ノ復命書

アル事ト想像ス

治水雜誌

内務省土木局御雇工師ヨハネス・デレーケ氏經歷始末

吾邦治水熱心家ノ經歷始末ハ枚擧ニ違アラス却ツテ其取捨ニ苦
 シムヲ覺見エト雖モ海外人ニシテ莫ニ吾邦治水上ノ開山泰斗ト仰ウ
 ハキ者幾人アリヤ 明治五年以來二十年間ニ於テ 和蘭國長工師
 フアン・ドウルン 全國工師エスセル 全イア・リンドウ 全イ・デレーケ 全
 ア・ハ、テ、カ、チツセン 全ア、テ、エル、ルーエン、ホルスト、ムルドル 全國工手
 デ、アルンスト 全ウエステル、ウヰールト 全イア、カリス 全フアン、マストレクト
 ノ諸氏ニテ何レモ滿期解傭歸國セシカ 特ニ現今駐在治水ニ
 鞅掌スル者ハ 和蘭國工師 日本帝國勲四等デレーケ氏其人ニシテ
 氏ハ明治六年以來尤ニ錄出セル經歷始末アリ 寔ニ外臣ノ列ナリ
 下雖モ鞠躬盡力 日本ノ治水其効ヲ奏セスンハ 死ストモ瞑セサル誠意
 アリト謂ツヘシ 今ヤ氏カ經歷始末ヲ錄シテ 吾邦土功ノ開山ヨリ祖
 師タランユトヲ希望ノ至ニ堪エス

内務省土木局御雇工師

日本帝國勲四等 ヨハネス・デレーケ氏

一 國籍 和蘭國ズトラン州 コリンスプライト府

一 生年月 千八百四十二年十二月五日

一 學業ニ関スル履歷 蘭國土木學士 水理學講師 シエ、ンブレット

氏ノ門ニ入り就學 爾來へ一府王國土木學士會ノ通常會員タル

一 日本帝國雇入以來ノ職務 明治六年九月内務省土木局ニ

雇入 久シク大坂ニ在リテ 渡木曾西川河身改修ノ業務ヲ督シ

遂ニ砂防ノ工法ヲ案出シ 水原土砂ノ流出ヲ扞止ス 長工師

フアン、トリルン氏ノ職ヲ止メ國ニ歸ルニ及ヒ 中央ニアリテ 時々

出テ工務ヲ兼督ス 今計畫ノ巨大ナルモノヲ擧レハ大坂築港

計畫 澱川筋天滿橋以下改修計畫 等是ナリ 其他福井縣

此等ノ
事ハ

トル
明治十年

三國築港ノ順序方法 福岡縣福岡築港費減省ノ設計 長崎

三國築港、順序方法福岡縣福岡築港費減省、設計長崎
港改修ノ計畫等放擧ニ違アラス奉職以來殆ント十有餘年尚
ノ久シキニ涉リ拮据精勵終始一ノ如ク能ク其職務ヲ盡セリ
蓋シ長工師フアン・ドールン氏ニ繼キ本邦治水工事ノ基礎ヲ確
立セシモノナリ

一 叙勲 明治廿二年一月十五日 叙勲四等贈與瑞寶章

以上、

